

令和7年度（2025年度）みどりのむらづくりフォーラムの企画・実行業務委託に係る
質問への回答書

令和7年（2025年）10月23日

番号	質問事項		回答
	項目	内容	
1	全般	○昨年と一昨年、同フォーラムが実施されているかと思いますが、開催内容について詳細をご教示頂けませんか。	○別紙を御確認ください。
2	募集要領 Ⅱ 応募 6 提案書の提出	○フォーラムのサブタイトルも提案内容に含まれるのか。	○サブタイトルについても提案をお願いします。
3	標準仕様書 2 フォーラムの予定プログラム (6) 参集範囲	○企画提案募集要領では「6 (1) ウ(ウ)幅広い参加者を獲得するための工夫」とあるが、参集範囲外の一般の方も広く参加募集を募るという認識でよろしいか。 ○一般の方も参加していただく場合、参加人数の総数についてはどの程度を想定しているか。	○一般の方のたくさんの募集を希望しています。 ○参加人数は総数400名程度を想定しています。
4	標準仕様書 7 成果品	○成果品はA4判資料及びデータを保存したCD-ROMのみでいいか。	○容量上、データが入らないようであれば、別媒体での提出でも問題ありません。
5	標準仕様書 3 業務内容 (別紙) 業務内容一覧	○「2. フォーラム参加者の取りまとめ」について、応募者へ対して参加券等の発送は必要となりますでしょうか。 ○「3. 事例発表者に関する調整」について、事例発表者の選定と交渉については貴県で行われるという認識でよろしいでしょうか。また「事例発表者への旅費、謝礼の支払い」についてはどの程度の金額想定となりますでしょうか。 ○「4. 基調講演に関する調整」について、基調講演者は昨年のフォーラムのようにむらづくり（地域づくり）の専門家だけでなく、テーマに沿った著名人でもよいのでしょうか。 ○「5. ・講演者の座席の配置計画」について、基調講演者も客席側での着席および観覧が求められるということでしょうか。またこの講演者には「事例発表者」も含まれるということでしょうか。 ○「5. ・横断幕、垂れ幕等の準備」について、横断幕はステージ上部に1つ、垂れ幕は左右どちらかに1つ設置する想定でよろしいでしょうか。具体的な仕様（サイズ等）についてもございましたらご教示頂けますと幸いです。	○参加費は無料であり、会場には余裕があるため参加券等は不要です。 ○事例発表者の選定及び交渉は県で行います。旅費は出発地点にもよりますが平均2,600円程度を想定しています。謝礼は5,000円程度です。 ○昨年、一昨年と農水省からの講師を選定していますが、とくにこだわる必要はなく、開催目的に合致していれば問題ありません。様々な目線からテーマについて考えられるような講演者を希望します。 ○基調講演者及び事例発表者が客席側での観覧を求められる場合を想定して業務内容一覧に記載しています。 ○特に指定はありません。

5	標準仕様書 3 業務内容 (別紙) 業務内容一覧	○「5. ・機材の準備」について、必須で準備する必要があります機材がございましたらご教示ください。 ○「5. ・フォーラム資料の構成と印刷」について、このフォーラム資料とは配布資料のことを指しているのでしょうか。また資料のページ数や必要部数などについてもご教示ください。なおこの「資料の構成」については貴県より情報提供頂いたものをまとめるという認識でよろしいでしょうか。 ○「5. ・フォーラムの参加募集チラシの作成と印刷」について、チラシのビジュアル案は提案必須でしょうか。 ○「5. ・グッズ作成（400個）」について、過去同フォーラムでグッズを作成されている場合は品物および個数についてご教示頂けませんかでしょうか。 ○「6. ・受付」について、受付対応は何箇所か設置する必要があるか。 ○「6. ・来賓、発表者等の誘導」について、誘導は誰が行うのか。 ○「6. ・写真、ビデオ撮影、議事録作成」について、ビデオ撮影はステージ全体を広角で1台のビデオカメラで記録するということでもよろしいでしょうか（または登壇者の寄り撮影など複数台での対応が必要でしょうか）。	○特に指定はありません。 ○フォーラム資料は配布資料のことです。ページ数は100P（カラー）、部数は400部を想定しています。事例発表者資料については県から情報提供いたします。 ○チラシのビジュアル案の提案をお願いします。 ○過去グッズ作成の事例はありません。また、今回は1種類のための制作を予定しています。 ○昨年度は受付4箇所を受託者をお願いしています。その他、資料配布2箇所、受付2箇所は県で担当しています。 ○誘導は主に県で行う予定ですが、補助で受託者に手伝っていただく場合があります。 ○特に指定はありませんが、ビデオ撮影は1台で問題ありません。また、記録用の撮影のため、データの編集等の作業は不要です。
---	---	--	--

令和5年度(2023年度)

みどりのむらづくりフォーラム

～ふるさとの魅力を次の世代へつなげよう!～

日時:令和6年1月18日(木)

会場:市民会館シアーズホーム夢ホール(大ホール)

発表資料

目次

基調講演	1
演題:「日本型直接支払とこれからの農村づくり」	
講師:農林水産省農村振興局整備部農地資源課 課長 荻野 憲一 様	
講演	37
演題:「1000年続く村東米良創生プロジェクト循環型山村づくり」	
講師:認定NPO法人東米良創生会 高橋 幸司 様 藤内 久子 様	
事例発表①	43
演題:「収穫の感動をみんなに!! ～からいも掘りは楽しか～」	
講師:熊本西部地域資源保全隊事務局長 上野 秀人 様	
事例発表②	55
演題:「上天草市日本型直接支払事業事務協議会の取組み」	
講師:上天草市日本型直接支払事業事務協議会 事務局長 坂口 知依美 様	
事例発表③	63
演題:「有機農業のまち山都町の取組み」	
講師:山都町農林振興課 主査 真野 唯 様	



みどりの むらづくりフォーラム

～地域の絆を紡ぎ、むらの恵みを次世代へ継承しよう！～

令和7年（2025年）1月28日

主催／熊本県農林水産部 むらづくり課

後援／熊本県多面的機能支払推進協議会

【開催趣旨】

中山間地域等では、日本型直接支払や熊本県ふるさと・水と土保全基金(以下、本制度)の活用により、農業の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動が行われていますが、高齢化の進行等による取組への影響が懸念されています。

このため、本フォーラムでは、地域の課題解決に向けた話合いの活性化をテーマにした基調講演をはじめ、本制度を活用した取組事例や日本型直接支払の制度紹介等を行い、本制度の推進を図るものです。

時間	式次第	
14:00	開会	主催者挨拶 熊本県副知事 竹内 信義
14:10	基調講演	演題：農業農村の未来に向けた処方箋～いまを診てこれからにつなぐ～ 講師：農村プロデューサー 高橋 信博 様
15:00	事例紹介	演題：多面的機能支払に係る次期対策における制度の概要等 講師：農林水産省農村振興局 課長補佐 河野 大輔 様
15:20	休憩(10分)	
15:30	事例発表①	演題：人吉地域広域協定運営委員会の取組について ～土地改良区との連携による組織の広域化～ 講師：ひとよし土地改良区 事務局長 秋山 翔太 様
	事例発表②	演題：農業で人と地域を繋ごう！！ ～持続可能な農業を目指して～ 講師：滝集落協定 代表 川原田 明彦 様 「うぶとも」 代表 上野 智美 様
	事例発表③	演題：癒しの里菊池の取組 講師：菊池市農政課 参事 松岡 賢憲 様
	事例発表④	演題：山里にいのち灯して 講師：菅地域振興会 代表 甲斐 重照 様
16:30	閉会	

基調講演及び事例発表 概要

【基調講演】

演題：農業農村の未来に向けた処方箋～いまを診てこれからにつなぐ～

講師：農村プロデューサー 高橋 信博 様

【プロフィール】

2021年3月に山形県庁を退職するまでの約40年間、農業土木技術者として農業農村における生産基盤と生活環境の整備に携わる。この間、全国1,000余の地域と関わりながら、地域住民の心に本気とやる気の火を灯すことで、元気な地域づくりを推進。退職後のいま、全国津々浦々で同時多発的に元気な地域が生まれることを目指し、その熱意と技術を伝えるための人材育成にも力を入れています。

【事例発表】

【事例発表①】 人吉地域広域協定運営委員会

多面的機能支払を活用して人吉市全体で活動組織の広域化を行い、土地改良区による構成員への日当の口座振込など、事務の効率化に取り組んでいる。

【事例発表②】 滝集落協定

中山間地域等直接支払を活用して集落外から就農希望者の受入れや農園カフェを拠点とした農業体験などによる関係人口の創出により持続可能な農業を目指して取り組んでいる。

【事例発表③】 菊池市

環境保全型農業直接支払を活用して菊池市で有機農業やオーガニックビレッジに取り組んでいる。

【事例発表④】 菅地域振興会

未来につなぐふるさと応援事業を活用して、棚田オーナー制や都市住民との交流等に取り組んでいる。



みどりのむらづくりフォーラム ～地域の絆を紡ぎ、むらの恵みを次世代へ継承しよう！～

主催／熊本県農林水産部 むらづくり課 後援／熊本県多面的機能支払推進協議会